



介助犬とは？

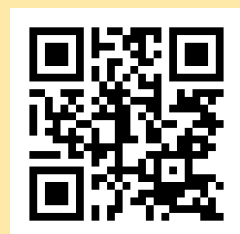
手足が不自由な方の手助けをする犬のことです。
 落としたものを拾う、靴・靴下を脱がせる、携帯電話を探して持ってくるなどその方のニーズに合わせた作業を行い、障がいをお持ちの方々の自立や社会参加を後押ししてくれます。全国で53頭（2022年10月現在）と頭数が少なく、認知度も低いことが課題です。

また、介助犬1ペア育成するにあたり240万円～300万円の費用がかかり、9割以上がご寄付や募金などから賄われています。

まずは介助犬の存在を知って頂き、育成・普及にご支援ご協力をお願いします。



以下より募金(Amazon Pay)ができます！



日本介助犬協会のその他活動

●Dog Intervention（犬による介入）

犬を連れた病院への訪問（動物介在活動）や、特定の患者さんに対して医師からの依頼のもと動物介在療法の実施、大学病院へ動物介在療法のためのDI犬（勤務犬）の貸与、虐待や性被害を受けた子どもが話しをする際のサポートをする付添犬の派遣などを行っています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



●With You プロジェクト

障がい者・障がい児の方等がいるご家庭に対し、細かく相談にのり、通常より長めのお試し期間を設けるなど、人と犬、両者の個性を丁寧にマッチングして犬を譲渡する取り組みを行っています。



SDGs達成への取り組みについて(HP)

日本介助犬協会への 支援方法について



介助犬の育成は皆様からのご支援によって支えられています

🐾 ご支援には、以下の方法があります。

※当会へのご寄付は、特定公益増進法人への寄附金として税制上の優遇措置があります。

寄付

- 金額を自由に決めてご寄付頂けます。
- ゆうちょ口座・銀行口座への振込、当会ホームページからクレジットカード決済も可能です。

会員

- 協会会員として、継続的にご支援頂く方法です。
- 会費（年額3,000円～/月額1,000円～）
- 会員の方には、ささやかな特典をご用意しております。



募金箱の設置

- お店、病院、オフィス等に募金箱を設置して下さい。
- 設置場所をご紹介頂ける方は当会までご連絡下さい。
- イベントなど短期間での貸し出し募金箱もございます。



物品寄付

- 未使用タオル、洗濯洗剤、未使用または書き損じ官製ハガキ、未使用切手などをお送りください。書き損じハガキは切手と交換し通信費として使わせて頂きます。

遺贈

- 「財産を介助犬育成・普及啓発活動のために役立てたい」とお考えの方は、当会までご相談下さい。 TEL：045-476-9005（本部事務所）

オンライン講義・講演のご案内



新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、日本介助犬協会ではオンライン講義・講演を積極的に受け入れており、団体や学校様向けに実施しております。今後いかなる状況でも普及啓発活動を続けられるように当会の活動を進めて参ります。